



憲法記念日の5月3日、全国で「安倍9条改憲NO」集会が開かれた。東京6万人、大阪2万人が集い、腐敗しきった安倍内閣の退陣を決議しました。(大阪市扇町公園)

# 平和がいちばん

2018年5月15日 第131号  
平和で豊かな枚方を  
市民みんなでつくる会

## 議会をかえよう 私たち市民の力で

昨年9月から枚方市議会本会議での議案審議、代表質問、一般質問がインターネットで同時中継されるとともに録画でも見られるようになりました。市民に開かれた議会へ一歩前進です。

しかし市民への情報公開はまだ遅れています。年4回の定例会に先立って、総務、文教、厚生、建設環境の4委員協議会が開催されます。ここに行政側から様々な案件が出され質疑が行われます。その後開催される本会議に提案される議案の実質的な審議の場にもなっています。しかし協議会は議員と行政の意見交換の場だと「自由な議論の為には議事録はない方がよい」と議事録は作成されていません。インターネット中継も録画もなし。傍聴しない限り市民はそこで何が議論されたのか知るすべがありません。議事録を作成し市民に情報提供することは議会の義務です。また定例議会ごとに議会報が発行され市民に届

けられていますが、その議会報には議会で質疑をした議員の名前が掲載されていません。また議案への討論でも、賛成討論がなければ反対討論は掲載なし。会派(3人以上でなければ会派になれない)に属していない無所属議員は、賛成討論も反対討論も掲載されないのです。市の提案にどのような問題があるのか、議員がどのような発言をしたのか伝わりません。議員は個人として選挙で選ばれています。党でも会派でもありません。その議員が公約を守っているのか、ちゃんと議論に参加しているのか、市民は知る権利があり、議会は報告の義務があります。提出された議案や意見書に議員各人がどのような意見を述べ、賛否の態度をとったのか、議会報に掲載することは簡単にできることです。議員一人ひとりと同じ権利を持っている大前提が尊重されなければなりません。

議会を変えよう、市民のために、市民の力で。

### 意見

「憲法」 私はこう思う 澄海

【日本国憲法】って『日本で暮らす中で守らなければいけない最低限のルール』って事なのだろう、と私は思う。じゃあ、なぜ【憲法九条】があるのに、政治家たちは、自衛隊を戦地へ派遣するのだろうか？ 【憲法二五条】があるのに、なぜ経済的に生活に困る人や就職できない若者がいるのだろうか？

学生時代に【憲法】は試験に出されるから必死に覚えた。それも事前に先生が出題すると言われたものだけ。【憲法】の意味も深く考えることもなかった。

ただ、今でも覚えているのは『日本は九条があるから戦争しない。平和の国なんだ』と先生が言っていたこと。私が小学五年生の時の担任の先生が『PKO反対のため駅前を歩いた。みんなを戦争に行かせない』とホームルームの時間に話してくれた。その時は、なぜ先生は歩いたのか？ と思っただけで深く考えなかった。

今、私は【憲法九条】に【自衛隊】を記載しないように署名を集めている。【わが子も、誰の子も戦地に行かしたくない】【みんな誰かの大切な人だから】という想いだ。【自衛隊】は災害救助隊、遭難者などの捜索隊だと思っている。武器を構えて、誰かの前に立つことも、その人命によって守られる平和も本当の平和ではないと思っっている。あの小学生の時の担任の先生は『こんな気持ちだったのか』と今になって思う。私が小学生の時に大人たちが行動してくれた平和への思いは、私たちへと受け継がれているのだと思った。でも、私はこの平和への行動を私たちの時代で終わらせたいと思う。自分の子どもやその世代に、平和を願って署名を集める事が必要のない時代であって欲しいと心から思う。

【日本は対話で外交を広げ、多くの国と人々と結び付き、助け合い、みんな笑顔で暮らせる国】だと次世代に引き継いでいくことが私たち世代のやるべきことなんだと思う。

# 手塚たかひろ 議員日誌



1947年佐賀県唐津市生まれ  
京都大学経済学部卒 京都市役所34年間勤務 主に福祉職場で働く 2011年市議初当選 現在2期目 「市民の会」事務局長 家族は妻と母親 娘と息子は独立して市内在住

4月14日 **安倍ヤメロ国会前集会に参加** 枚方の仲間7人と一緒に。全国から5万人が参加し、国会前の広い道路を人の波が埋め尽くす。「膿はお前だ。お前がヤメロ」、若い人の声が響く。若者も元気だ。安倍悪政への怒りの高まり。元気をもらった。

4月27日 **南北朝鮮首脳会談** 文韓国大統領と金朝鮮労働党委員長の歴史的会談。朝鮮戦争の終結、敵対行為の中止、朝鮮半島の非核化など平和への動きが進む。平和は武力でなく対話でしか生まれないことを目の当たりにした。東アジアの平和が進むことを望みたい。対話を拒否し朝鮮危機を利用した安倍首相の自衛隊増強、9条改憲はこの流れに逆行する。朝鮮敵視の安倍内閣では拉致問題解決も期待できない。

5月3日 **憲法記念日** 午前中は楠葉駅前、枚方市駅前で毎年恒例のリレートーク。参加者はそれぞれが平和、憲法の思いを語る。午後は、扇町公園の集会、デモに参加。参加者は2万人。東京は6万人。3日現在で「安倍9条改憲NO3000万人署名」が1350万筆と報告があった。多くの人たちの努力の成果。朝日新聞の調査でも9条改憲反対が多数。安倍内閣の支持率は30%を割る。3000万人署名をもっと広げよう。市民の力で安倍内閣総辞職、改憲阻止を。政治を変えよう。

4月23日 4月分議員報酬から217,400円を大阪法務局へ供託。私は**政務活動費は受け取っていません**。

## 韓国民衆との連帯ツアーに行ってきました

### 「この闘いは必ず勝利する」と確信

5月3~6日まで韓国連帯ツアーに参加しました。主催は「平和と民主主義をめざす全国交歓会」です。このツアーの目的は、韓国の反原発運動や反基地闘争の現状を知り、日本の安倍改憲反対運動や反原発の取り組みを紹介し交流するという、まさに市民レベルの草の根交流でした。結論から言えば、現場では今も変わらず運動が脈々と粘り強く続けられているということでした。原発問題では、文大統領が就任前には慶州の団結テントを訪問するなど反原発の運動に若干の理解を示しながら、大統領となってからはなかなか廃炉の方向に進んでいません。そんな中、原発によるトリチウムの被害が深

刻で癌の手術をした女性は今、裁判も闘いながら他の住民たちと反原発の運動の先頭に立って闘っています。またサード (THAAD 高高度防衛ミサイルシステム) 配備反対の星州 (ソンジュ) の住民たちは、今年の4月23日に大弾圧を受け多くの負傷者を出し、今も千人以上の警察官が村に投入されている中で闘い続けています。私たちが訪問した時も43台の警察の大型バスが駐留していましたが、この光景は沖縄辺野古や高江に重なりました。しかし人々はあきらめず、座り込みやろうそく集会を行い闘っています。歌あり踊りありの明るい闘いの姿がとても印象的で、市民の生活に根ざした、したたかでたくましい姿でした。

ホッと  
タイム



## 松田久子

1957年彦根市生まれ  
滋賀大学教育学部卒  
81年から枚方市の障がい児施設・高齢者施設で働き 介護職経験33年  
ケアマネジャー10年  
家族は夫・子供二人 働きながら子育てをしてきた 介護・福祉「すずらんの集い」代表

〒573-0027

枚方市大垣内町

2丁目8-27

シンエービル別館A

市民の広場ひこばえ

TEL&FAX

072-846-8780

## 平和で豊かな枚方を市民みんなで作る会

共同代表 鈴木めぐみ (親と子のリズム遊び講師)

奥村 秀二 (弁護士)

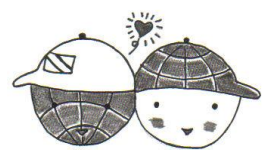
おおた幸世 (枚方市平和無防備条例を実現する会)

事務局長 手塚 隆寛 (枚方市会議員)

事務局次長 松田 久子 (「すずらんの集い」代表)

メールアドレス: [hiratkatasiminnokai@yahoo.co.jp](mailto:hiratkatasiminnokai@yahoo.co.jp)

ホームページ: <http://hiratkatasiminnokai.jimdo.com/>



「会」のシンボルマーク  
塔本賢一さん作